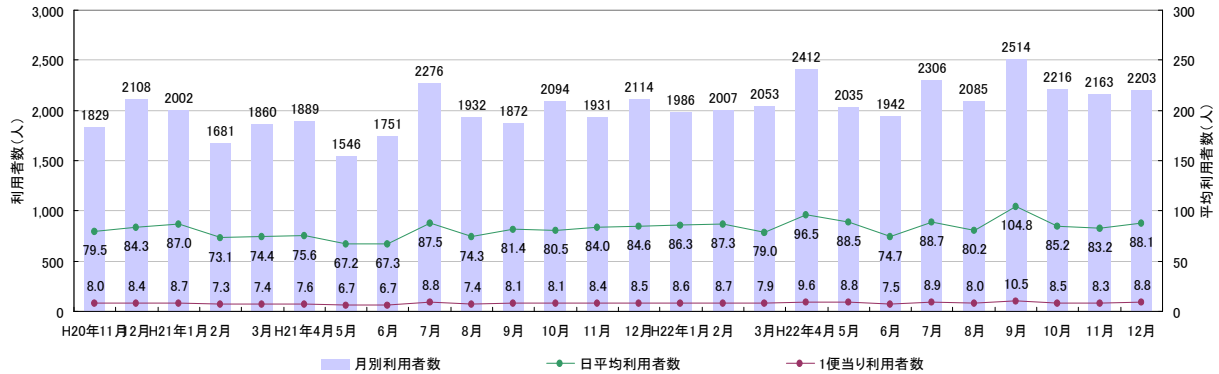


1. 上田市街地循環バスについて

(1) 実証運行期間中の利用者数の推移

- 平成 22 年 4 月～22 年 12 月までの合計利用者数は約 19,900 人、平成 21 年同時期の合計利用者数は約 17,400 人であり、約 2,500 人増加しており、利用者数の増加傾向が伺える。



(2) 利用者数と満足度の整理

【旧運行時との1ヶ月平均利用者数の比較】

- 旧運行時（平成 19 年 10 月～20 年 9 月）の 1 ヶ月平均利用者数は約 2,400 人、新運行時（平成 21 年 10 月～22 年 9 月）の 1 ヶ月平均利用者数は約 2,100 人と旧運行時水準には至っていない。

【最終目標値の達成状況】

- 当循環バスの平成 21 年度の年間利用者数は約 23,500 人であった、連携計画で定めた最終目的値は約 30,000 人であり、実証運行期間中は達成できなかった。

【満足度】

- 実証運行開始年度（平成 20 年度）は約 40%、平成 21 年度は約 40%、平成 22 年度は約 50%との結果であり、満足度は向上している。

	旧運行	新運行			最終目標値
年利用者数(人)*1	27,000	23,500			30,000
月平均利用者数(人)*2	2,400	2,100			—
満足度(%)	—	H20	H21	H22	30
		40	40	50	

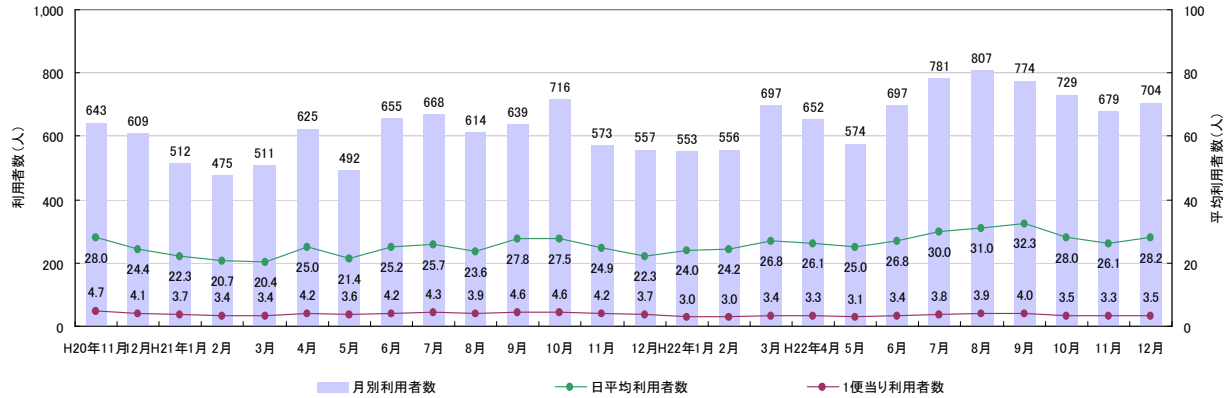
*1: 旧運行は平成19年度、新運行は平成21年度のデータ

*2: 旧運行は平成19年10月～平成20年9月、新運行は平成21年10月～平成22年9月の平均値

2. 丸子地域循環バスについて

(1) 実証運行期間中の利用者数の推移

- 平成 22 年 4 月～22 年 12 月までの合計利用者数は約 6,400 人、平成 21 年同時期の合計利用者数は約 5,500 人であり、約 900 人増加しており、利用者数の増加傾向が伺える。



(2) 利用者数と満足度の整理

【旧運行時との1ヶ月平均利用者数の比較】

- 旧運行時（平成 19 年 10 月～20 年 9 月）の 1 ヶ月平均利用者数は約 720 人、新運行時（平成 21 年 10 月～22 年 9 月）の 1 ヶ月平均利用者数は約 660 人であり、旧運行時水準には至っていない。

【最終目標値の達成状況】

- 当循環バスの平成 21 年度の年間利用者数は約 7,300 人であった、連携計画で定めた最終目的値は約 13,000 人であり、実証運行期間中は達成できなかった。

【満足度】

- 実証運行開始年度（平成 20 年度）は約 30%、平成 21 年度は約 55%、平成 22 年度は約 60%との結果であり、満足度は向上している。

	旧運行	新運行			最終目標値
年利用者数(人)*1	8,900	7,300			13,000
月平均利用者数(人)*2	720	660			—
満足度(%)	—	H20	H21	H22	30
		30	55	60	

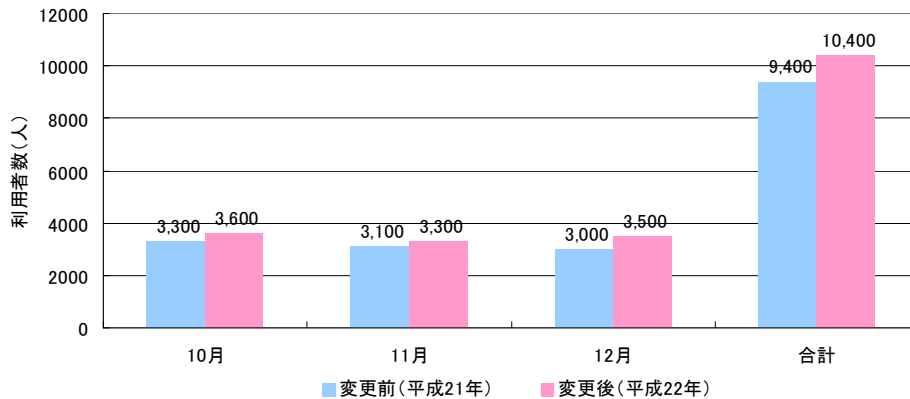
*1: 旧運行は平成19年度、新運行は平成21年度のデータ

*2: 旧運行は平成19年10月～平成20年9月、新運行は平成21年10月～平成22年9月の平均値

3. 傍陽線本原地区迂回実証運行について

(1) ルート変更前と変更後の同時期利用者数の変化

- 変更前（平成 21 年 10 月～12 月）の利用者数は約 9,400 人、変更後（平成 22 年 10 月～12 月）の利用者数は約 10,400 人、変更後同時期で約 1,000 人増加した。



※ 利用者数は運賃収入を1人当たり単価で除した値

(2) 各バス停の日平均利用者数

- 新設した「上原バス停」は日平均 7.9 人、「中原バス停」は日平均 11.1 人の利用状況であり、実際の利用が認められた。

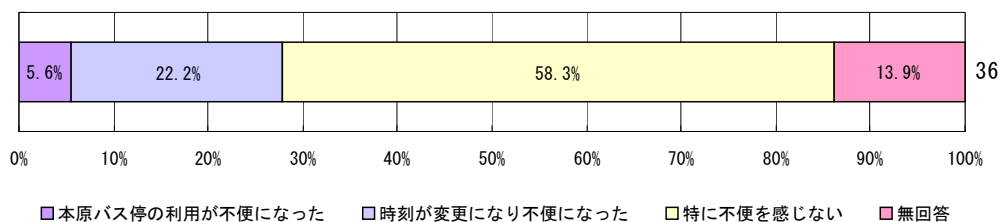


※ 平成 22 年 10 月 7 日～25 日の調査期間データ

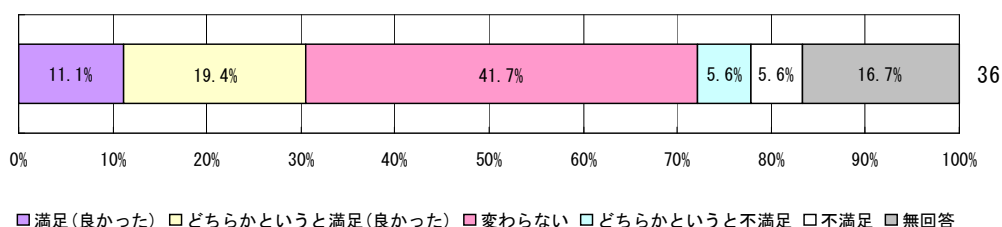
(3) 利用者数の満足度

- 「時刻の変更」が最も高い回答率を示した。
- 「満足、どちらかという満足」が約 30%、「不満足、どちらかという不満足」が約 10%と満足の回答率が不満足の回答率を上回っている状況

◆本原地区迂回により、不便になった点



◆本原地区迂回が良かったかどうかの満足度



4. タクシー事業の活性化及びタクシーを活用した観光に資する事業について

連携計画で定めた目標に関する評価指標について、下表にまとめた。

【タクシー観光利用者数】
■ 今年度は288組（平成22年12月時点）であり、目標値300組には12組及ばなかったが、現状推移を維持できれば、目標を達成する見込みである。また、前年度との比較を行うと、今年度は46組増加させることが出来た。
【苦情件数】
■ 今年度は6件と、昨年度と比較し3件減少させることが出来た（平成22年12月時点）。
【満足度】
■ 今年度は約80%の満足度を得ており、昨年度から20ポイント向上させることが出来た。

	21年度	22年度*1		目標値	
			前年度差		22年度差
タクシー観光利用者数*2	242組	288組	46組増加	300組	12組不足
苦情件数	9件	6件	3件減少	—	—
利用者の満足度*3	約60%	約80%	20ポイント上昇	—	—

*1：22年度は平成22年4月～12月の期間

*2：観光ガイドタクシーを含めた時間貸切の運行回数（定期的のあるものは除く）

*3：JR上田駅におけるタクシーアテンダントまたは乗務員によるヒアリング調査結果